

平成30年4月13日

各 位

GOYOfoods
Go! Best the Future by Cheer Foods.



会 社 名 五洋食品産業株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 舛田圭良
(コード番号 2230 TOKYO PRO Market)
問 合 せ 先 取締役管理部長 正林英治
(T E L 0 9 2 - 3 3 2 - 9 6 1 0)

特別利益の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成30年4月13日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成29年7月14日に公表した平成30年5月期（平成29年6月1日～平成30年5月31日）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、平成30年5月期第4四半期において特別利益を計上することを併せてお知らせいたします。

記

1. 平成30年5月期通期業績予想数値の修正（平成29年6月1日～平成30年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,148	100	69	58	32.27
今回修正予想（B）	2,044	△24	△47	△24	△13.31
増減額（B－A）	△103	△124	△116	△82	
増減率（％）	△4.8	－	－	－	
（ご参考） 前期実績 （平成29年5月期）	1,987	109	83	72	42.43

2. 修正の理由

売上高は、飲食店等向けへの業務用チャネルの堅調な需要を背景に前期実績を超える見込みにあるものの、宅配、輸出等の他の販売チャネルでの売上が、売上規模の拡大に向け

た供給能力の底上げに対し期初の業績予想数値までは届かず、計画が未達となる見込みとなりました。

費用は、原材料価格及び人材供給の逼迫による労務費の上昇、本社工場の増改築による減価償却費の増加等により売上原価率が上昇いたしました。

また、当初は、平成 29 年 5 月期より着手した本社工場の増改築に伴う生産効率の改善効果を当期より見込んでおりましたが、売上の伸び悩みによる生産量の調整や生産要員の不足等により、生産効率が想定を下回りました。一方で、今後の売上見通しや生産要員不足の解消状況等に鑑み、来期以降にその改善効果が発現するものと見込んでおります。

以上より、「3. 特別利益の計上について」のとおり、平成 30 年 5 月期第 4 四半期会計期間において特別利益を計上するものの、需要が最も高まる 12 月を含む第 3 四半期において期初業績予想を達成する売上と利益が確保できず、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益において前回予想を下回ると判断したため、期初予算を修正いたします。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

3. 特別利益の計上について

平成 29 年 5 月期に完成・引き渡しを受けた本社工場の増改築による生産設備の更新に伴い、経済産業省から、平成 29 年度中小企業経営支援等対策費補助金「ロボット導入実証事業」に採択されました。

そのため、平成 30 年 5 月期第 4 四半期会計期間において補助金収入 25 百万円を特別利益として計上いたします。

以上